

馬がいて、人がいて、

そしてまた馬がいる

OVER THE TOPI



2023 10.7 [土] - 8 [日]

プロジェクト「の、まど」in 都井岬

灯台の光がめぐる夜と、雲とともに流れ去る朝のあいだ
岬に、風が吹いている

草木をゆらし、鳥をのせ、波をおくり、
あなたのたてがみを撫でて、
わたしの首元をかすめる

めぐる、流れ去る、この岬が抱く命たちに、すべての星が降る

いつかどこかで吹いた風が、
今日もここへかえってきたようだ

avec Toi









宮崎県立芸術劇場が2021年度から継続するプロジェクト「の、まど」。劇場という場所を離れて県内各地で企画を行うそのプロジェクトの3年目を考えるにあたり、ある職員から「都井岬」の名前が挙がったのは去年の夏ごろのことでした。

ここ都井岬は、日本の在来馬で国の天然記念物である「御崎馬^{みさきうま}」が生息する場所で、観光地としてとても魅力的な土地です。

一方、そこには岬とともに生きる人々がいて、暮らしがあり、歴史がある。それがどれほど素敵で大切なことかは、しばしば見落とされがちです。

300年以上前の江戸時代、ここは高鍋藩秋月家の藩営牧場でした。馬たちの暮らす丘に登ると、戦争の遺構があります。20軒以上の民宿やホテルが立ち並び、大勢の人々で賑わった時代もありました。そして昔も今も、岬のなかで暮らしている方たちがいます。

都井岬を何度も訪れ、そうしたことを少しずつ知っていくうちに、芸術を媒介にすることで、単なる観光地ではない「都井岬」という場所の、自然と人の営みを見つめ直すことができるのではないか、と思ったのです。

私たちは舞台芸術を専門とする劇場ですが、今回、それぞれ異なる分野で活躍するアーティストにお声かけしました。美術の分野で活躍する五十嵐靖晃さん、影絵師・音楽家として全国各地を飛び回る川村亘平齋さん、そして宮崎在住の新進気鋭の映像作家、伊達忍さんです。さらに、串間市在住のイラストレーター、スズキトモチさんにキービジュアルをお願いしました。

それは、舞台芸術という枠組みを超えて、多様な知恵を募り、人と人、人と土地のつながりを結んだり編み直したりすることこそが、今ここ（都井岬）で、私たち「宮崎県立芸術劇場」ができることなのではないか、という思いがあったからです。串間市の皆さんの多大なご協力や、隣接する宮崎県立美術館の力もお借りして、今回の形が実現しました。

すでに知っている物事でも、誰かの視点を借りることで、今まで見たことがなかった景色に出会うことができるかもしれない。それが芸術の魅力ではないでしょうか。その出会いは、驚きや喜びを運んでくれるかもしれないし、学びや気づきをもたらしてくれるかもしれません。そんな視点はきっと、たくさんあったほうが楽しいに違いないのです。

タイトルのもとになった「avec toi」はフランス語で「君と（一緒に）」。今日ここで、皆さんと一緒に、五感を意識し、わかちあいながら、この場所に地層のように積み重なったたくさんの記憶や出来事、目には見えないけれどもたしかにそこにある生命の営みに、想いを馳せたいと思います。

ワークショップ「風と馬」

希少な日本在来種として

国の天然記念物に指定されている野生馬「御崎馬」。

彼らには1頭ごとに番号が付けられていて、

その性格も、馬それぞれ。

それぞれの御崎馬の個性を知り、そのコミュニケーションの形を考える。

今日この時間は、参加する皆さんもひとりの御崎馬。

風を感じる道具〈かぜよみ〉を手に、小松ヶ丘にのぼり、

馬になって風を探します。

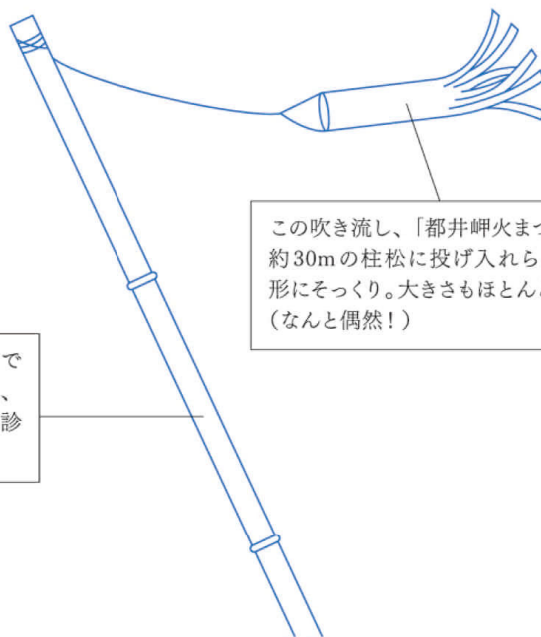
馬として風をさがしに
行くワークショップ。
都井岬の丘で風に立って眠る。

かぜよみ

〈かぜよみ〉は、風を感じるための道具。そよそよと風になびく、吹き流しの形を眺めたり、音に耳をすましたり。あなたの“風の探し方”を見つけてみてください。

都井岬で年に一度行われる「馬追い」では、こんな竹の棒で音を出しながら、馬を柵の中に集めて、一頭一頭健康診断を行います。

この吹き流し、「都井岬火まつり」で高さ約30mの柱松に投げ入れられる松明の形にそっくり。大きさもほとんど同じです。(なんと偶然!)



©三迫太郎

五十嵐靖晃 いがらし・やすあき

アーティスト。1978年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。人々との協働を通じて、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開。アートとは自然と人間の関わり方の術であり、この時代、多様な人々をつなげるものとしてあると考える。2005年にヨットで日本からミクロネシアまで約4000kmを航海した経験から“海からの視座”を活動の根底とする。代表的なプロジェクトは、樟の杜を舞台に千年続くアートプロジェクトを目指す《くすさき》(福岡県/太宰府天満宮/2010～)、漁師らと共に漁網を空に向かって編み上げ土地の風景をつかまえる《そらあみ》(瀬戸内国際芸術祭2013・2016・2019)、南極にて子午線を糸に見立て世界各地の人と組んだ紐で共に凧を揚げる《時を束ねる》(南極ビエンナーレ2017)、古くから伝わる民間信仰をアート作品として再構築し後世に受け継いでいくことを目指す《海渡り》(熊本県/つなぎ美術館/2021～)など。

影絵パフォーマンス「御崎馬の夢」

Story

昔々、竜宮城に飛んできたカラスが、
ソテツの女神の実を食べて、樂園を追放される。
当て所なく海を渡り、都井岬で力尽きた。
カラスの亡骸から、大きなソテツの樹が生まれ、
その子孫たちが今もこの御崎を守っている。

それから長い月日が流れた。
御崎の水辺に、年老いた雌馬が一頭やってきて、
水を飲み、森で身を横たえる。
雌馬はうつらうつらとして、
今までこの御崎に産み落とした子馬達の夢を見る。

気がつくとき、雌馬は息を引き取っている。
雌馬の死の知らせを聞きつけた御崎の動物達は、雌馬を弔い、その肉を食べる。
やがてその亡骸から、小さなソテツの芽が生える。

雌馬は、御崎へ還っていった。
この土地で何世代も繰り返されてきた命の循環。
灯台の光は、今夜も静かに回り続けている。

今は使われていない
ビクターセンター壁面に映し出される、
時空を超えた夢幻の影絵物語。
母馬と見る、岬をとりまく走馬灯のような夢。



©小暮哲也

川村亘平齋 かわむら・こうへいさい

影絵師・音楽家 <https://www.kawamuraoheysai.com>

1980年、東京生まれ。インドネシア・バリ島の伝統影絵【ワヤン・クリット】を現代的な文脈で捉え直し、新たな芸能のカタチを模索し続ける影絵師。世界各国で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。日本各地でフィールドワークやワークショップを行い、土地の記憶を手がかりに影絵作品製作。その他、切り絵や映像制作、映画・CM等への楽曲提供など幅広く活動している。ガムランを使った音楽ユニット【滞空時間】主宰。

平成28年度第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞。北海道庁主催『北の絵コンテ大賞』受賞(2021)。テレビ東京「東京交差点」出演(2022)影絵芝居「福田うみやまこぼなし」(瀬戸内国際芸術祭/2022)ストラヴィンスキー「兵士の物語」(演出・出演/東京藝術大学/2022)。

映像作品「界」



「界」=地・水・火・風・空・識の六種の界、六界の意。

都井岬で暮らす御崎馬、灯台、風、そして人。美しい海。

そして四年ぶりの開催となった「都井岬火まつり」。

地元で長年暮らしている方々の言葉を紡ぎ、

祭りを支える方達の実話の話を交え「火まつり」を追ったドキュメンタリー作品。

今から一月半ほど前の8月26日、都井岬火まつりが4年ぶりに開催されました。

この舞台で、伝統の「白太鼓踊り（柱松大おどり）」を披露することを誇りに、夏休み中、何日もかけて懸命に練習する子供たち。

一方、火まつりの掉尾を飾る壮大な「柱松」の準備に、力を合わせて動しむ大人たち。

地域に息づく「火まつり」を通して垣間見えたのは、悠久の時をかけ、人間と自然が連綿と関わり続けてきた、都井岬を巡る生の営み。

映像作家は、都井で生きる人々の声を聞くため、そして、めまぐるしく表情を変える自然の様相をカメラに収めるため、長い時間をかけて幾度も、この地に足を運びました。

その膨大な記録と記憶の中から紡ぎ出される、わずか30分足らずに凝縮された映像作品です。



伊達忍 だて・しのぶ

1996年宮崎県生まれ。自主制作映画、宮崎県内アーティストのMV、企業PR映像などを制作。映像制作会社勤務を経て現在は映像制作チーム「jumpcut」にてオリジナル作品を多数発表。【WORKS】ペランパレードMV「メモリーズ」、The Bimboes「black bard」、アーツカウンシルみやざき「石川浩司 宮崎を叩く」都農町移住定住促進サイト 100年の誠実都農町 HP 動画制作、環ROY参加型パフォーマンス『Fine Game』/環 ROY ソロ・パフォーマンス宣伝広告動画制作など。

「都井岬ガイド」

『avec Toi』だけで特別に体験できる、今回限りの都井岬ガイド。ご案内するのは、都井岬のスペシャリスト・秋田優さん。小松ヶ丘をのぼりながら、御崎馬に出会えば、馬についてのお話が始まります。馬だけではなく、そこかしこに咲く、都井岬ならではの花や植物。糞があれば、そこで生きるキノコや虫たちもいます。岬全体の生態系がどんなふうに繋がっているのか、その世界を見ることができます。ここにはまた、様々な時代、様々な人々の営みもあります。

一馬がいて、人がいて、そしてまた馬がいる—雄大な自然の中を歩きながら、都井岬の無限に広がる魅力を、余すことなくご案内します。



秋田優 あきた・まさる

昭和53年(午年)生まれ。栃木県那須塩原市出身。都井岬の野生馬に憧れて宮崎県串間市へ移住。宮崎大学大学院農学研究科卒。都井岬ビジターセンター解説員を経て、串間市文化財専門員として平成20年串間市役所へ入庁。令和4年から現職。(御崎馬に魅せられたウマ年男! 都井岬に泊り込みで御崎馬に密着、馬糞からハガキも作る馬マニア。)

Extra Events

「くらやみ展示室ツアー」

かつてビジターセンター解説員を務めていた秋田さんによる、復活ガイド!くらやみの中、懐中電灯片手に探検気分で、貴重な展示を紹介します。

ビジターセンターは現在、閉館しており、この2日間しか入場できません!

「アーティスト・トーク」

7日(土)

初日の「風と馬」ワークショップを終えた五十嵐さんと、一緒にワークショップを進行する「ウマーティスト」たちによる、振り返り&展望。

8日(日)

五十嵐さん、川村さん、伊達さんが集合する、豪華なトーク・セッション!



プロジェクト「の、まど」
in 都井岬



クレジット

参加アーティスト：五十嵐靖晃(アーティスト)
川村亘平齋(影絵師・音楽家)
伊達忍(映像作家)

特別協力：秋田優(串間市エコツーリズム推進室)

イラストレーション：スズキトモミチ

写真・文：グンジキナミ(P2～4、P8)

デザイン：平野由記

舞台監督：土屋宏之

照明：工藤真一、花岡瑞姫

音響：関本憲弘、鎌田文夫

企画製作：公益財団法人宮崎県立芸術劇場

制作：露木拓真、嶋田翔太(宮崎県立芸術劇場)
林田古都里

主催：公益財団法人宮崎県立芸術劇場

共催：串間市教育委員会

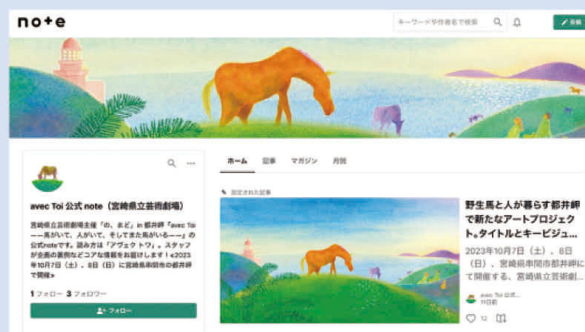
協賛：TOIGLAM SOLASITA

協力：都井御崎牧組合、串間市観光物産協会、柱松大おどり保存会、都井地区柱松保存会、世良田明呼、小林郁雄(宮崎大学農学部附属住吉フィールド)、井手武文(都井岬振興会)、宮田浩二、井手一成(旧吉松家住宅副館長)、土持祐幸(御崎神社宮司)、丸山隆照(普門寺住職)、井手喜美子(公益社団法人燈光会)、前田リツ子(前田商店)、都井岬黄金荘、民宿海洋荘、海のこころ、SEABISCUIT PARLOUR、宮崎県立美術館

プロジェクト「の、まど」

宮崎県立芸術劇場が県内各地をめぐりながら、地域の方々と一緒に舞台芸術の魅力に触れるプログラムを展開するプロジェクト。「の、まど」には、英語で遊牧民を意味する“ノマド”と、“～の窓”の2つの意味が込められています。

公式 note・instagram



公式 note・instagram で詳しい情報を発信しています

プロジェクト **の、まど**



note



instagram



タイムテーブル



10月7日(土)・8日(日)両日共通	
小松ヶ丘エリア	③ビジターセンターエリア
10:30 - 11:30 ①「都井岬ガイド」	
	12:30 - 13:00 くらやみ展示室ツアー
	13:00 - 13:30 映像作品「界」上映
14:00 - 16:00 ②ワークショップ「風と馬」	
	16:30 - 17:00 アーティスト・トーク
	17:00 - 17:30 映像作品「界」上映
日の入り (17:50 頃)	
	18:30 - 19:00 影絵パフォーマンス「御崎馬の夢」

受付・駐車場について

混雑する場合がありますので、お早めにお越しください。

- ①「都井岬ガイド」
- ②ワークショップ「風と馬」

受付場所：小松ヶ丘広場
 受付開始：プログラム開始30分前
 駐 車 場：小松ヶ丘広場の駐車場

③ビジターセンターエリア

受付場所：ビジターセンターエリア入り口
 受付開始：プログラム開始30分前
 駐 車 場：「バカラパカ」周辺の駐車場

ビジターセンターエリアは、以下の時間帯のみ開場します。
 それ以外の時間は立ち入りできません。ご注意ください。

- 12:00～14:00頃(映像作品『界』上映終了)まで
- 16:00～19:30頃(『御崎馬の夢』上演終了)まで

こちらも
お読み
ください



参加者の皆さまへのお願い

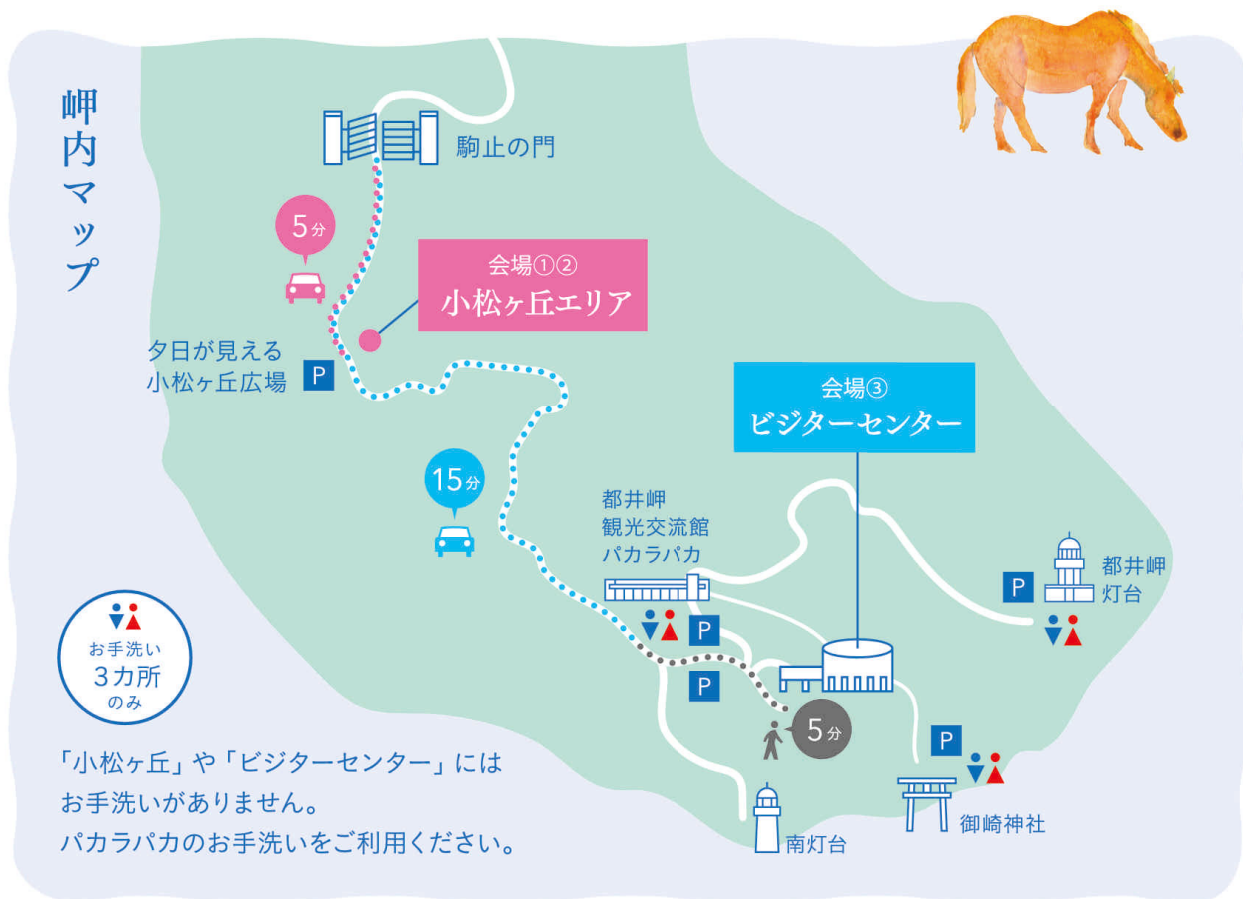
- 体調不良等の場合は、お近くのスタッフにお知らせください。
- 貴重品等はご自身で管理をお願いいたします。

＜ワークショップ「風と馬」に参加される方へ＞
 ワークショップの内容をお楽しみいただくために、ワークショップに参加する際は、携帯電話やカメラ等の携行ができません。ご自身の車内にて保管いただくか、受付でお預かりいたしますので、予めご了承ください。

駒止の門を越えたら

都井岬内は、速度を時速 30km 以下に落として、安全運転でお進みください。

- ・馬が急に飛び出してきたり、カーブの先で寝ていることもあります。
周囲には素敵な風景が広がっていますが、進行方向をよく見て運転してください。
- ・馬が道路を塞いでいることもあります。そんな時は、どうか、のんびりお待ちください。
- ・決して、クラクションを鳴らしたり、馬と接触したりしないでください。



注意事項



野生馬の住む世界に、私たちは訪ねて伺う立場です。彼らの暮らしにご配慮をいただけますようお願いいたします。

- 都井岬は国定公園で、国指定天然記念物の野生馬「御崎馬」の保護区域です。野生馬をはじめ多くの野生動物が生息する場所です。生態系保護のため、動植物の持ち込み・持ち出しは禁止されています。
- 馬に至近距離まで近寄ったり、触ることは禁止されています。むやみに近づいたり音を立てると、驚いて攻撃をしてくる場合があります。特に後ろからは近寄らないでください。
- もし馬から危害を加えられても、補償は一切いたしかねますのでご了承ください。
- 馬に食べ物は一切与えないでください。腸などが詰まり死に至ることがあります。
- 御崎馬は国の文化財に指定されています。馬を傷つける行為は、文化財保護法によって処罰される可能性もあります。
- 都井岬は火気厳禁です（TOIGLAM 利用者の敷地内指定場所を除く）。
- 駒止の門を入ると保護区域です。馬の糞にご注意ください。
- 駒止の門で配布されるパンフレットも、必ずご一読ください。

駒止の門より

会場①② 小松ヶ丘エリアへ

小松ヶ丘駐車場まで 🚗 5分

会場③ ビジターセンターエリアへ

パカラパカ周辺駐車場まで 🚗 15分

パカラパカからビジターセンターエリアまで 🚶 5分